

あやべで育む生きる力プロジェクト

京都産業大学むすびわざプロジェクトinあやべ

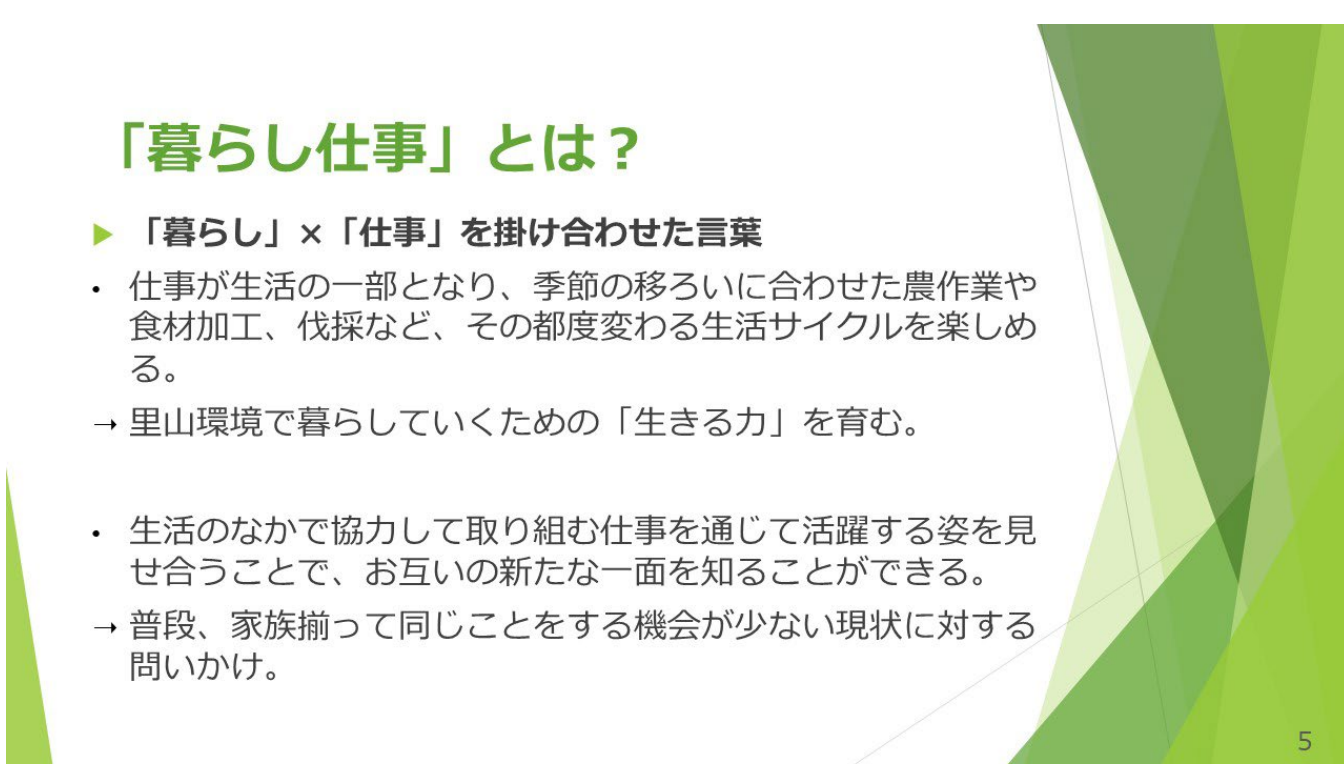
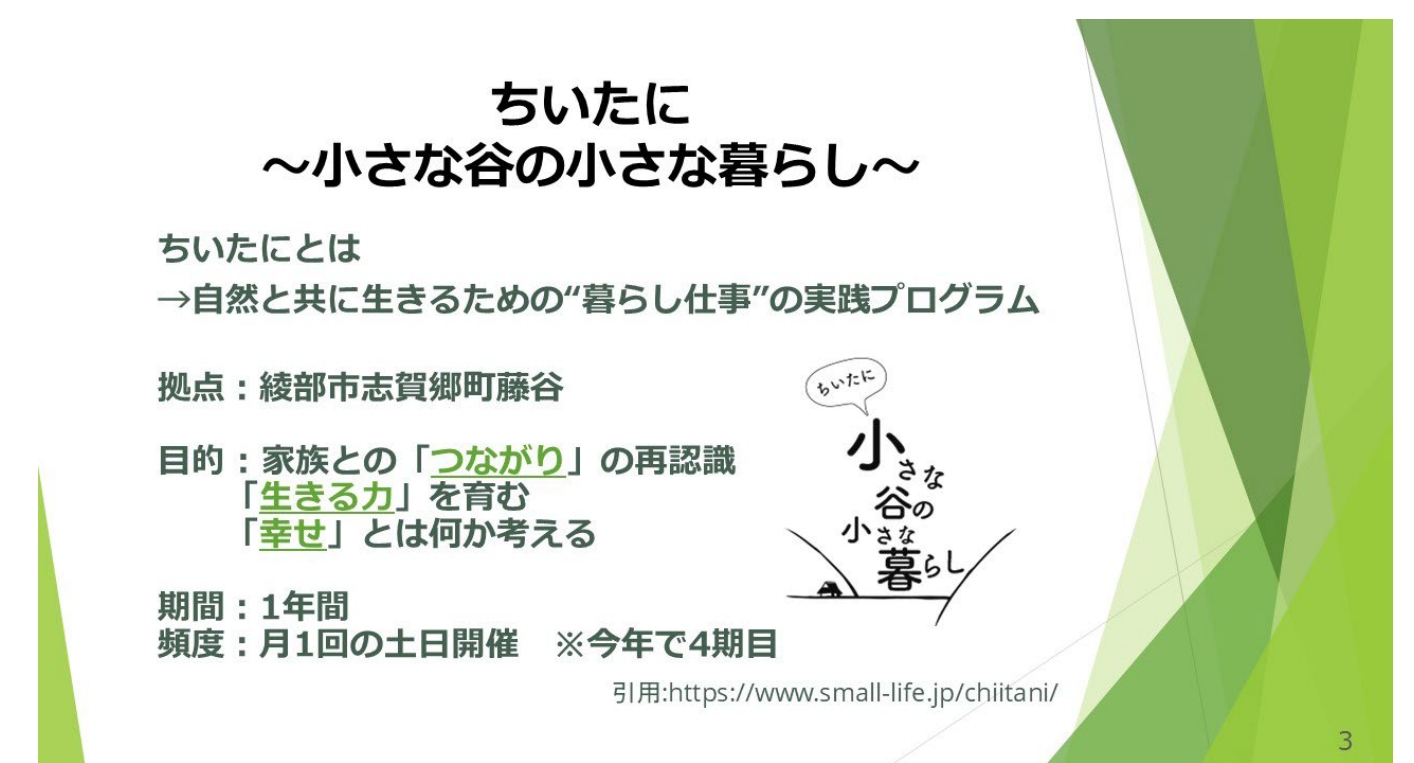
現代社会学部 滋野ゼミ

事業概要

学生が地域への参画や調査等を通じて認識した地域課題をもとに、自ら企画を立案し、地域の各主体と協働して事業化する。その事業に社会実験の意味合いを持たせることにより、事業実施後の検証を通じて、地域側が自らの課題を再認識し、その解決のための行動を促すためのシーズを提供する。

1 地域の「関係人口」としての学生創出事業

「小さな谷の小さな暮らし」(志賀郷ゴキゲン化計画主催)に年間を通じて参画し、そこでの経験、調査から、この取り組みのコンセプトである「暮らし仕事」の意味を知ったり、現在の取り組みにおける課題の抽出を行ったりした。



2 地域の子どもたちとの交流・共育を通じた郷土愛醸成事業

今年度で3回目となる「綾部こども探偵」を実施した。これは、綾部市内の小学生が「探偵」として、地域の魅力を発見し、レポートにまとめる取り組みを、学生が「助手」としてサポートするものである。

「綾部こども探偵」とは

- ・綾部市内の小学生が「探偵」となって、綾部の各所を訪問。見学やインタビューを通して地域の魅力を発見し、それを「報告書」にまとめ、発表するプログラム。学生が「助手」となって、「探偵」の調査・報告をサポートする。
- ・子どもたちが、地元のことを知り、関心や愛着を持ってもらうことが狙い。
- ・2022年度から、当時のゼミ生考案の企画をもとに、市秘書広報課様と協働で実施したのが始まり。
- ・以降、毎年夏休みに1日半のプログラムを行っている。
- ・活動の様子は『広報あやべ「ねっと」』2024年9月号に掲載
- ・<https://www.city.ayabe.lg.jp/cmsfiles/contents/0000004/4816/n0609all.pdf>



3 学生による地域の課題解決プロジェクト

学生たちのアイデアをもとに、「過疎地域におけるICTによる地域課題解決の提案」「ドライブマップの作成」「米粉レシピ集の作成」「ウォーキングサッカー大会」「ダンスワークショップ」を実施した。

